

1 次の文章を読み、設問に答えなさい。

「地図の上 朝鮮国にくろぐろと 墨をぬりつつ 秋風を聴く」(石川啄木)

ここには、①1910年8月の出来事がよまれています。この出来事がおこって、100年が過ぎました。良好であった日本・朝鮮の江戸時代の関係は、明治政府ができて、これが新しい国の形や方向を求めていくことで、こわされていきます。これと並行し、日本の朝鮮侵略が始まり、進みました。このため、朝鮮は1910年以前にすでに、独立国としての実質を奪^{うば}われていたのです。こうした流れのまとめが、1910年8月の出来事でした。

以後、朝鮮人は土地を奪われ、そのため、多くの人たちが仕事を求めて、日本などに移らざるをえませんでした。②朝鮮人のための米の増産だ、といわれながら多くの米が日本に送られてしまいました。③前からあった朝鮮人に対する誤った見方、差別が強まっていきました。抵抗運動や独立運動は、徹底した武力弾圧を受け、多数の死者・投獄者^{とうこく}を出して、おさえられていきました。1931年の、日本軍による一連の中国侵略活動以後、軍事拠点としての朝鮮の役割がより重くなっていき、これにともなって、朝鮮人支配は強められていきました。例えば、④朝鮮人を日本人に同化させる政策が強化されました。朝鮮人は無理矢理、日本に連れてこられて過酷^{かこく}な労働を強いられました。ついには日本と同じように(1)制が導入され、朝鮮人も戦場に動員されるまでになったのです。

長く続いたアジア太平洋戦争が、連合国によって示された(2)宣言を日本が受諾^{じゅだく}しておわりました。1945年の夏のことでした。この時、朝鮮は、日本による支配からようやく解放されたのです。

問1. 文中の(1)(2)に適語を記入しなさい。

問2. 下線①の1910年8月の出来事を何といいますか。

問3. 下線②は、1918年富山県から全国に広まった出来事に対応するためのものでもありました。1918年の出来事を何といいますか。

問4. 下線③を背景として、1923年9月1日以後数日間にわたって、東京・横浜などで、大混乱のさなかに日本で生活する朝鮮人数千人に関係する事件がおこっています。

イ. 大混乱の原因となった9月1日の出来事を答えなさい。

ロ. 朝鮮人数千人に関係する事件とはどんな事件でしたか、簡単に述べなさい。

問5. 下線④について、具体的にはどんなことが行われましたか。二つあげなさい。

2 核廃絶をめぐる世界の動きについて、次の文章を読み、設問に答えなさい。

2010年8月には、広島、長崎に原子爆弾が投下されて日本がアジア太平洋戦争に敗れてから65年が経ちました。戦争を体験した人々は年々高齢化し、少なくなるばかりです。広島、長崎で被爆した人々は、二度と原爆が使用されることがないようにと、その体験を語る活動を続けてきました。

65年目となった8月6日の広島「平和祈念式」には、原爆を投下したアメリカや核を保有するイギリス、フランスの政府代表が初めて参列しました。さらに、国連事務総長潘基文が初参列するなど、ロシア、中国をふくめ過去最多の74ヶ国の代表が集まりました。核廃絶に向けた国際的な世論の高まりを示す祈念式となりました。

秋葉広島市長の平和宣言では、各国代表や国連事務総長の初参列について、「核廃絶の緊急性が世界に浸透している」と評価し、被爆者の願いを世界に伝えることが必要だと主張しました。さらに、「核廃絶に向けて先頭に立つ」と表明してきた日本政府に対し、アメリカの「核の傘」から離れることと、非核三原則の法制化を要求し、国際社会のなかで主導的役割を果たすように訴えました。

この核兵器廃絶をめぐり、世界ではどのような動きがあったのでしょうか。

2010年5月、アメリカのニューヨークで核兵器が世界に広がらないように5年に1度話し合う核不拡散条約(以後NPTと略して表す)の再検討会議が開かれました。①NPTは、「核を持つ国」を、アメリカ、ソ連(現在のロシア)、イギリス、フランス、中国の5ヶ国と決め、それ以外の国は「核を持たない国」とした国際条約で、1970年に結ばれました。当時は、アメリカとソ連が対立し、にらみ合った「冷戦の時代」で、「核戦争がいつ起こるかもしれない」という不安がありました。

②NPTには現在190ヶ国が加盟、核保有国には核兵器を減らす努力をさせ、核を保有しない国には核を持つことを禁止し、原子力を平和利用できるとしてきました。しかし、核保有の5ヶ国は核兵器を手放しませんでした。もし他国が攻めてきたら、核兵器を使うことで、周りの国々ににらみを利かせることができます。核兵器を使ったら核兵器でやりかえすという考えで、お互いに脅かし合うことで平和が保たれてきました。そして、アメリカなど核保有国の核を減らす努力が足

りなかったため、5ヶ国以外に核兵器が広がりました。NPTに加盟していないインド、パキスタン、イスラエルが新しく核保有国となり、(ア)も2003年にNPTを脱退し、2006年と2009年に核実験をしました。NPTに加盟しているイランでも核兵器を開発している疑いがあるとされています。

今回のNPTの再検討会議では、参加国が合意した文書が10年ぶりにまとまりました。核をもつ5ヶ国はどのくらい減らしたかを2014年に報告すること、インドなど未加盟国に対しNPTに加盟することを求める、などを決めました。また、「核兵器禁止条約」をつくる考えに初めて言及するなど、核兵器をなくす方向が確認できた点で評価されています。NPTの体制には課題が多いのですが、核兵器をなくすにはこの話し合いを通して合意を重ねていくしかありません。

NPTの会議に合わせて日本から被爆者らが毎回開催地を訪れてきました。その度、各国政府代表に原爆の恐ろしさを伝えてきました。今回は、5年前の2005年のアメリカの(イ)大統領の時とは違い、被爆者はアメリカの報道関係者から多くの取材を受けました。アメリカ国内での世論の高まりを示しています。前回のNPTでは(イ)大統領が核兵器廃絶に消極的で、何も決まらずに失敗に終わりました。今回は文書で採択され、多くの点で前進しました。被爆者の主張が実現にむけて、一歩進み始めました。

最近の核廃絶の動きを推進した一人がアメリカのオバマ大統領です。就任した2009年に「核のない世界をめざす」と演説しました。③アメリカが広島、長崎で原爆を使用したことと結びつけて、世界から核兵器をなくすため、アメリカは「行動する道義的な責任がある」と言ったことは一つの前進でした。核兵器を大幅に減らすことでロシアと合意しましたが、今後も核を持続ける考えに変化はありません。④核抑止力の考えを捨てない限り核兵器はなくなりません。

また、冷戦後、アメリカ、ロシアなどで核兵器の削減が進んできましたが、解体された核兵器から出た核物質の管理が問題となっています。各地で核物質の流出が進み、闇市場で入手した核物質を使った核テロの可能性が指摘されています。オバマ大統領は核物質管理の国際的な体制づくりに動きだしています。

(出典 2010年8月6日朝日新聞夕刊と8月8日朝日中学生ウィークリーを参考に作成しました)

問1. 文中の(ア)にあてはまる国名を, (イ)にあてはまる人名を入れなさい。

問2. NPTで「核を持つ国」として認められている5ヶ国は, 国際連合のどんな機関で重要な地位を占めているか。国際連合の機関名を答えなさい。

問3. 「冷戦の時代」は, 第二次大戦後からいつごろまで続いたか。アメリカの核弾頭保有総数のグラフ(図1)を参考に, 以下のア～オから適当なものを選びなさい。

ア. 1965年 イ. 1970年 ウ. 1980年 エ. 1990年 オ. 2000年

問4. NPTには加盟していないインド, パキスタン, 加盟しているが核開発の疑いがもたれているイランについて, 位置を地図中のア～コの中から答えなさい。

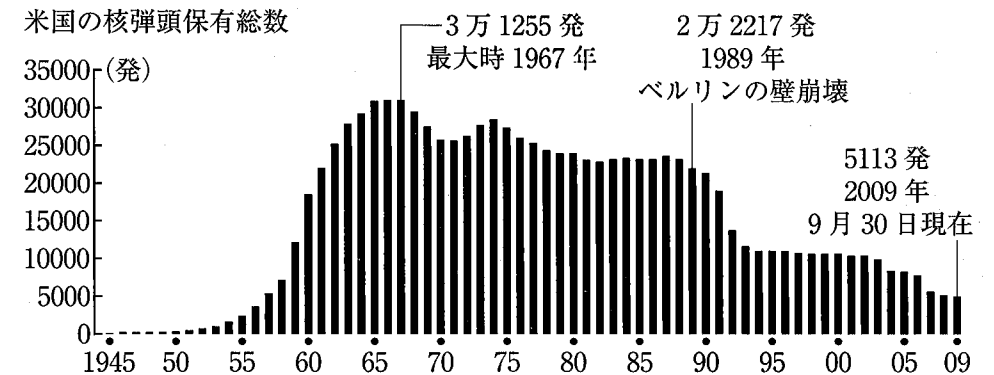
問5. 核抑止力の考えを, 本文の一部を参考にして説明しなさい。

問6. 下の文は日本国憲法の「前文」の一部です。平和主義について関連した部分を示しています。本文で記した被爆者が求める平和について, 以下の「前文」と関連づけて説明しなさい。

日本国民は, 恒久の平和を念願し, 人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて, 平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して, われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは, 平和を維持し, 専制と隷従, 圧迫と偏狭を地上から除去しようと努めてゐる国際社会において, 名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは, 全世界の国民が, ひとしく恐怖と欠乏から免かれ, 平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

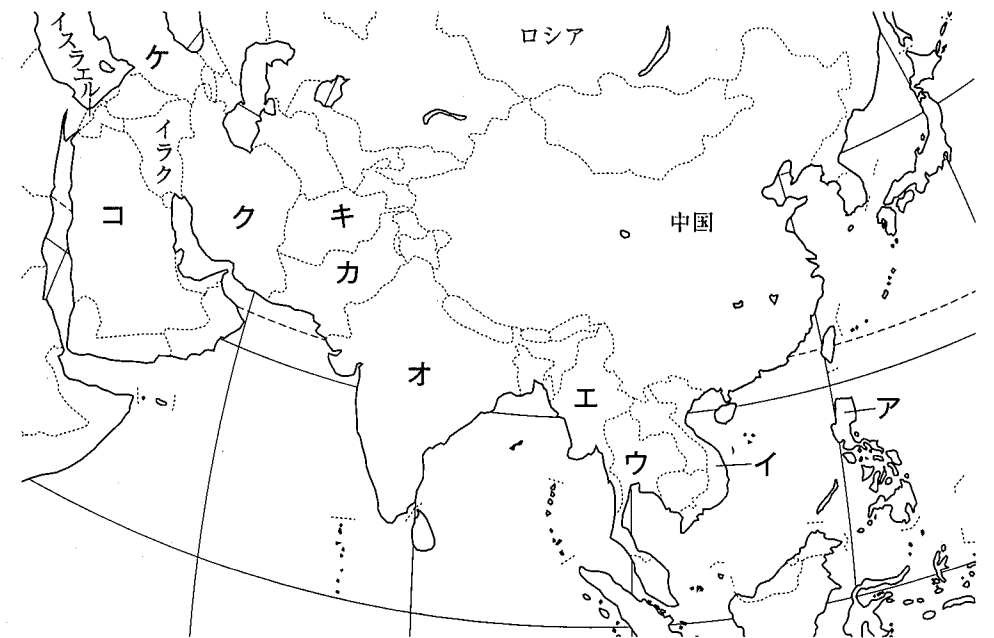
問7. オバマ大統領は, 「核のない世界をめざす」, NPTの体制をつくりあげようとしている。そのなかで最大の脅威としているのは何か。国同士の問題(核抑止力, 核軍縮など)と違い, どんな点で対策が大変なのか説明しなさい。

[図1]



米務省発表資料(2010年5月3日付)から。廃棄待ちは除く。会計年度

[地図]



2011年度 社会解答用紙 (第1回)

受験番号	
------	--

総点	※
----	---

1

問1	1		2	
----	---	--	---	--

※

問2	
----	--

問3	
----	--

※

問4	イ	
	ロ	

※

問5	

※

小計	※
----	---

2

問1	ア		イ	
----	---	--	---	--

※

問2	
----	--

問3	
----	--

※

問4	インド		パキスタン		イラン	
----	-----	--	-------	--	-----	--

※

問5	
----	--

※

問6	
----	--

※

問7	
----	--

※

小計	※
----	---